

令和5年度11月教育委員会 会議録

開催日時	令和5年11月24日（金） 14:00～17:00	
開催場所	早島町町民総合会館 2階 集会室	
出席者	委員	白神敬祐教育長、栗坂祐子委員、綾野克紀委員、市橋晃委員、岡本善弘委員
	事務局	猪木浩二学校教育課長、吉見一成生涯学習課長、貝原丈雄課長補佐
会議次第	1 開会 教育長あいさつ 2 議事・報告案件 (1) 令和5年度岡山市町村教育委員会委員研修会（市町村教育委員連絡協議会研修会）について (2) その他 3 連絡 4 閉会	
会議資料		
傍聴者	なし	
会議録作成者	貝原丈雄	

会議内容

<p>1 開会</p> <p>教育長あいさつ</p> <p>白神教育長：インフルエンザがかなり流行っていて、早島小学校でも、今週の火曜日水曜日に5年生1クラスが学級閉鎖になり、明日かがやきフェスティバルがあるので、大丈夫か心配しています。学校園には引き続き、感染対策をしてくださいとお願いしています。</p> <p>レジュメに沿ってお話しします。</p> <p>（学校行事等）</p> <p>学校教育課では、10月21日（土）に中学校で「だっぴ」が参観日を兼ねての実施となり、充実したものになりました。27日には小学校で、国の学力調査官が来られて授業改善研修会がありました。成果が次に繋がって欲しいなと思います。</p> <p>11月6日に岡山教育事務所のアクションプラン訪問がありました。県教委が、小中学校校長の学校経営力の向上等を目的に実施するもので、指導助言を</p>
--

頂きましたので、それを参考に、年度末に向けてそれぞれ取り組みを進めていただくように学校にお願いしています。

生涯学習課関係では、今月5日がいきいき広場、11日が花ごぎピンポン、19日がソフトボール大会、19日午後が町立図書館25周年記念セレモニーでした。

(教育長関連研修会等)

10月19日に吉備中央町で町村教育長会連絡会議がありました。24日には岡山教育事務所管内の教育長連絡会議がありました。(資料あり)

吉備中央町であった町村教育長会連絡会議に県教委の義務教育課の方が来られて学力の話しをされまして、教科によって度数分布は型が違うので、それぞれ学校のどこにスポットを当てて指導すれば良いかを考えて下さいという話しでした。特に小学校では、確認テストをもう1度試してみ、どの辺が悪かったのか、次年度に向けてまたやるようになっています。

岡山市の教育委員会が現職の教員対象に11月に再試験する。岡山市以外の現職の人は、岡山市に来たいなら試験するからどうぞと、その時初めて聞きました。いくら人が足りないからと言っても現職を採るなど、教育委員会教育長としても要望書を県に出しました。

岡事管内の教育長連絡会議では、教育事務所長が言われていた1つ目は働き方改革で、2学期で授業をだいたいどの位やったかわかるから、3学期に余剰があればやめたらどうかと。早島町はたくさんやっていないので、微調整として学級閉鎖があった場合などに残しておく必要があるかと思っています。

2つ目の不祥事防止は、岡山市の先生がちよくちよくと新聞にもニュースにもなったと思います。懲戒処分の方針の一部改正についての通達を付けています。

3つ目の人事異動は、人事異動調査書を今までは紙でうちがもらって、それを事務所に出示していましたが、今年からは学校が、紙ではなくPDFなどで事務所に直接出すこととなります。それから人事異動は3月の終わり位に新聞発表になりますよね。それで確定なんです。内示は1週間くらい前に出るんですけども、前はプレスがある日まではあまり学校間で連絡をとるなどになっていましたが、去年からはそれを、少し前から校長同士で話をしてもいいことになり、もう一つ去年から修了式当日に子ども達に異動予定の教職員を紹介できるようになりました。

(結び)

11月も下旬になりますと、人事異動のヒアリング、当初予算に向けての動きとか、12月議会が始まり、次年度に向けた準備の時期になります。

28日(火)に、議会の全員協議会があります。宮山グラウンドの人工芝生

化というか、負担付寄附が表に出ます。

今私が申し上げたところで何かご意見ありませんか。それでは私の話しは以上とさせていただきます。

2 議事・報告案件

(1) 令和5年度岡山市町村教育委員会委員研修会（市町村教育委員連絡協議会研修会）について

栗坂委員：先程の研修ですが、先生方が、健康で笑顔で子ども達の前に立てるように、我々が応援していければいいなといつも思っています。まずは、行政（教育委員会）と学校との信頼関係が出来上がり、学校の管理職と学校現場の先生方との信頼関係が成り立って、地域の方・教育委員会・学校現場・保護者が繋がって、皆の信頼関係があることが前提で、色々な事が進んでいくんだらうなと思っています。そこがギスギスしているところで改革していくのは難しいと思いました。

白神教育長：早島は地域の方が協力的で、割と働き方改革は進んできていると思います。栗坂委員が言われるように、先生が元気でないと子供も元気にならないので、それを目指してやっていければと思います。

市橋委員：やったらいいことは沢山あったと思うので、本当に必要だと思う熱量ある誰かが先導してやらないと、なかなか変わらないかなと思いました。

白神教育長：ある程度の方が旗を振らないとね。教頭先生が頑張ってやったようで、校長とも職員ともコミュニケーションをとって繋がって出来たのかなと思います。

岡本委員：今までは、教育の大きな改革の旗振り役は大学の先生が多かったが、それが上手くいかなかったと言いますか、現場のことをわかっていてお話しされていたのか、大学という立場から学校をみて、時々現場に入って意見を言っていたのかの違いもあるのかな。澤田さんは、現場の細かいことが、10年間の教員生活があったから提言されている印象が非常に強かった。自助・共助・公助は、防災に関わる言葉から来ていたと思いますが、これを学校現場に持ち込んだかと思って、あの考え方は面白いなと思いましたし、これは理解しやすい感じがしました。先生方もこういう1つの尺度を持って、コレは自分達がやること、コレは教育委員会にやってもらうこととすみ分けをするのは、考えを進める前段階として必要ではないかなと感じました。見直しの項目例の教育委員会のところですが、域内一律の大会、キャンペーン、コンクール廃止、研究指定廃止など、思い切ったことを書いたなと思いました。本当にそんなことまで切り込んでくれるなら、現場としては非常にありがたいと思います。学校が色々な自由裁量を持っていくことと、あくまで公教育であるということと、そのバランスが今後どうなっていくのかなと少し不安に思いました。

白神教育長：研究指定を受けて伸びる部分もあるのかなと思ったりもしました。

綾野委員：無理やりにでも有給取らすとか、17時になったらPCをシャットダウンするとか、そうしておいて、あなたならどういう働き方をしますかという提案もして欲しかったかなと思います。グループトークをするのであれば、討論した結果を誰かが発表する時間も確保した方が良かったかなと思いました。

白神教育長：有給は、昔に比べると割と取れるようになったイメージがあるんだけど、有給の制度も充実してきたんだと思います。土日に勤務したら、振替なんかも管理職が言うだけでも、先生方のストレスが変わってくるかもしれない。
ありがとうございました。次回以降のテーマが何かありますか。

栗坂委員：「若手教員の育成について」を是非取り上げて頂きたいです。

綾野委員：「部活動の地域移行」を聞きたいです。

(2) その他

吉見課長：宮山グラウンドの芝生化について出てきた負担付寄附ですが、具体的には今回、ファジアーノの提案で、宮山グラウンドのサッカーコート部分の芝生化、グラウンド内のクラブハウスの建設を寄附行為で行う。負担（ファジアーノが付す条件）の部分は、ファジアーノ社を町の社会体育施設の指定管理者に20年間就任させて下さいというのが提示している条件です。これを受納するのは地方自治法の規定により議決が必要になるので、今回議会に上程するものです。ファジアーノ社自体の会社の取り組みとして、岡山県内のサッカー環境をもっと向上させたいということです。サッカーすることを想定して設計された宮山グラウンドを芝生化したい。1億6千万円～2億円位の投資と聞いていますが、人工芝を張ると10年～13年位で1度張り替えなければいけなくて、それに今の相場で8千万円位掛かるようなので、早島町の持ち出しになると、もう少しメリットが欲しいということで、1年位ファジアーノと早島町で協議をしてきました。予算の範囲内で指定管理料これだけ払うので、これらをやって欲しいと言う中に具体的には、部活動の地域移行の受け皿、総合型地域スポーツクラブの設置運営、地域活性化に繋がる町のマラソン大会とか、ファジアーノに参画してもらえれば、もっと中身が充実して効果が上がりそうなものを色々パッケージにしてやっていただき、町の人が喜んでもらえるならと話を進めて形になってきたなど、まず負担付寄附の受納を議会に上程します。議決いただくと、指定議案という町がファジアーノを指定管理者に任命する。それは半年後を想定しています。その間に、業務仕様や協定の概要をいくらで受けてくれるのかという具体的な協議を詰めて、要所要所で議会に報告しながら進めていく。早島町にメリットがある形に持って行くのが、年明けからのミッションになるかなと思っています。

運動会のアンケート結果を受け、今のやり方で行くと、やりたい方とやりたくない方がほぼ半々です。運動会は町としても伝統ある行事に間違いはないですが、困

っている人を巻き込んだままだと自治会離れを増やしてしまう危惧を抱いているので、1度立ち止まって、在り方検討委員会で検討しています。まずはやりたい人だけ。必ず自治会から選手を出してくださいというのはなくて、綱引きや玉入れなどの参加しやすいのは自治会対抗で参加してもらえばいいし、自治会の枠を外して、1つの案として、中学時代の仲良しグループとか、スポーツ少年団や地域の活動グループにも参加してもらえるような種目を作る。そこで楽しみたい人だけ集まって、今は興味のない人でも楽しそうだから参加してみようとか、応援に行ってみようとか、そんな風に再スタートして育てていきたいなと思い検討しています。またご報告させていただきます。

3 連絡

【レジュメに記載】

猪木課長：次回の教育委員会は、12月20日（水）15：00～ ゆるびの舎2階の集会室で開催予定です。よろしくお願い致します。

4 閉会